

このコーナーでは、甲賀市工業会に加盟されている、ものづくり企業を紹介していきます。

甲賀市工業会への問い合わせ先
☎65-0709 / ☎63-4087

世界で唯一の人工砂リサイクル工場 山川産業株式会社 水口事業所

http://yks-net.jp/

DATA
設立／昭和19年(水口事業所 平成19年)
従業員数／177名(全社) 13名(水口事業所)
所在地／水口町笹が丘1番71号 ☎65-5202 ☎65-5203



お話を伺った半田所長

製造販売、および使用済み砂の再資源化に関する事業活動を通じ、限りある地球資源再生という社会的課題の一端を担っています。

水口事業所は、世界で唯一の鑄物用球状人工砂専用のリサイクル工場として平成19年にスタートし、現在では、大手自動車メーカー向けに月約1000tの人工砂の供給、リサイクルを行っています。

当社は、様々な産業界に「砂」という天然資源を供給しています。

けい砂の採掘並びにけい砂関連製品の

■複雑な鑄造部品の製造に欠かせない人工砂

鑄物用球状人工砂は、自動車をはじめ産業機械のエンジンなどの鑄造部品を製造する過程で鑄型として活用されます。

鑄造部品の複雑な形状をした空洞部分を形成するには、砂を樹脂で固めた鑄型が不可欠です。さらに球状人工砂は、球状という特性により鑄造時の様々な欠陥や不具合を少なくし、多様なニーズに対応することが出来ます。

また、当社は、これまでの経験やノウハウを活かして使用済みの球状人工砂鑄型を再原料化、新砂同様の製品を製造し、ユーザー側のコストダウンと環境の改善を実現しています。

■さらなる技術向上をめざして

私たちは、事業活動を通じて社会業界へ貢献できるような、お客様のあらゆるニーズに応える上質な製品とサービスの提供に努めています。



▲再生工程



▲鑄物用球状人工砂

これからも他社に負けない技術をもって、人工砂リサイクルの推進、さらなる新商品の開発と技術向上をめざすとともに、海外事業の強化を図っていきます。

(製造部取締役 水口事業所所長 半田 勝郎氏談)

●甲賀市の将来像

「人 自然 輝きつづける あい甲賀」

- 生活の安心感をみんなで育てる
- 自然環境を大切に、暮らしの豊かさにつなぐ
- 安全で快適な生活の基盤を整え、まちの活力を高める
- 地域の特性を活かし、元氣な産業を伸ばす
- たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる

まちづくりのシンボル

甲賀市総合計画基本構想

●今月の納税等

- ☐ 固定資産税(4期)
- ☐ 国民健康保険税(11期)
- ☐ 保育料・幼稚園使用料
- ☐ 介護保険料(11期)
- ☐ 後期高齢者医療保険料
- ☐ 水道料金・簡易水道料金

納期限は2月28日(金)です

市税等の納付には、便利な「口座振替」をご利用ください。

広報 あいこうか 2014年2月15日号
[No.208]2014.2.15発行

■編集・発行

- 甲賀市役所
〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
☎0748-65-0650 ☎0748-63-4554
- 甲南庁舎(甲賀市甲南町野田810番地)
【上下水道部】
☎0748-86-8000 ☎0748-86-8032
【教育委員会】
☎0748-86-8002 ☎0748-86-8380
- 市民窓口センター(甲賀市水口町水口6053番地)
☎0748-62-1621 ☎0748-63-4086
- 土山地域市民センター(甲賀市土山町北土山1715番地)
☎0748-66-1101 ☎0748-66-1564
- 甲賀大原地域市民センター(甲賀市甲賀町相模173番地1)
☎0748-88-4101 ☎0748-88-3104
- 甲南第一地域市民センター(甲賀市甲南町野田810番地)
☎0748-86-4161 ☎0748-86-8029
- 信楽地域市民センター(甲賀市信楽町長野1203番地)
☎0748-82-1121 ☎0748-82-3415

※上記4つの地域市民センターは、旧支所の地域市民センターで、従来の支所機能を有します。
業務時間／8時30分～17時15分(窓口延長日を除く)

「広報 あいこうか」がホームページでもご覧いただけます!

甲賀市ホームページ
<http://www.city.koka.lg.jp/>

甲賀市 facebook ページ
<http://www.facebook.com/city.koka>



編集後記

今回取材に行った土山小学校では、毎日給食に出される牛乳の大切さを知ってもらおうと、出前授業が行われました。講師の方が、なぜお乳が出るのかを母牛が出す子牛のための大切なミルクだと教えられており、それを聞いた児童たちが、心から感謝の気持ちを込めて「ごちそうさまでした」と大きな声であいさつしていたのが印象的でした。

食事を見つめ直し、おいしく、命の恵みに感謝していただきたいと思います。

